

2018年秋のかやぶきコンサート 第396回～第398回  
～ カズコ・ザイラーと素敵な音楽仲間 Seiler und Musikalische Freunde ～

## トリオ・コンサート

カズコ・ザイラー (ピアノ)

&

エリカ・アカネ・シュッター (ヴァイオリン)

ティエーモ・シュッター (チェロ)



日時: 2018年9月29日(土) 11時、15時  
30日(日) 11時 計3回公演

会場: かやぶき音楽堂 (京都府南丹市胡麻)

曲目: シューベルト ピアノ三重奏曲第1番 変ロ長調 作品99 D898  
ベートーベン ピアノ三重奏曲第7番 変ロ長調 作品97「大公」 他

入場料: 2500円 (全自由席)

### エリカ・アカネ・シュッター Erika Akane Schutter ヴァイオリン奏者

1983年スイスに生まれる。父はスイス人、母は日本人。バーゼル音楽院でトーマス・フュリー氏に学び卒業、教員免許を取得。更にルツェルン音楽大学でセバスチャン・ハマーン教授に師事し、2012年冬ソリスト演奏のMAを取得。室内楽に情熱を傾ける。メデア・トリオ(ピアノ三重奏団)のヴァイオリニストとして2005年から2015年まで活動。

2009年ミグロ室内楽コンクールと2011年オルフェウス・スイス室内楽コンクールで受賞。2012年スイス三重奏コンクールのジェラルディン・ウィッタカー賞でスイス人作曲家の曲を最も優れた解釈で演奏したグループに与えられる「スイス音楽基金賞」を受賞。同年「スイス大使賞」受賞。欧州(ロンドン、ウイグモアホール他)、米国、日本各地で演奏活動を行う。スイスの作曲家ダーフィット・フィリップ・ヘフティ氏とクリストフ・シーヌ氏がメデア・トリオのために各々「Lichter Hall」(明るい響き)と「Insomnies」(不眠症)を作曲。2015年メデア・トリオ演奏によるダーフィット・フィリップ・ヘフティの「Lichter Hall」と「Interaktionen」がミュージック・スイスよりデビューCD発売。アントン・ケルニャック、アンドラーシュ・シフ、フェレンツ・ラドショの三氏から影響を受ける。

2014年からルツェルン室内管弦楽団(Festival Strings Lucerne)の団員。チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団とチューリッヒ室内管弦楽団(Zuercher Kammerorchester)でも活動。2008年から09年までグスタフ・マーラー・ユージェンド管弦楽団の団員として活動。ルツェルン・コンサートホール(KKL Luzern)でアウバン・ベルグの「ヴァイオリン協奏曲」をルツェルン交響楽団と共にソロ演奏。

2012年よりブリエンツ・バイオリン制作学校の音楽科で教鞭を執る。「ベーレンシュッツ」音楽堂と「ダッハカンマーコンツェルテ・ブリエンツ」のアートディレクターとしても活動中。2017年春から2018年夏までチューリッヒ・トーンハレ管弦楽団の第二ヴァイオリニストとして契約。



### ティエーモ・シュッター Thiemo Schutter チェロ奏者

1985年スイスに生まれる。ベルン音楽大学でコンラディン・ブロードベク氏に学び、教員免許を取得。ルツェルン音楽大学でマレク・イエリエ氏に師事、演奏実技(主専攻)、現代音楽(副専攻)でMAを取得。ケルン音楽大学の室内楽講習でルツェルン弦楽四重奏団のメンバーとしてアルバン・ベルグ弦楽四重奏団に指導を受ける。

室内楽の他に現代音楽にも興味を持つ。スイスの現代音楽合奏団アンサンブル・ボスヴィルで演奏。アンサンブル・プロトン・ベルンの結成にも携わる。

2013年から2015年までブリエンツ・バイオリン制作学校でバイオリン制作者として職人教育を受ける。

2015年夏よりバイオリン制作者として働きながら、チューリヒとベルンで室内楽奏者としても活動。

